

平成 28 年 3 月 18 日
商 工 中 金

**「地域中核企業支援貸付制度」適用
山形大学から生まれた有機EL照明製品の生産を増強する
株式会社タカハタ電子を金融面からサポート！**

商工中金は、平成 27 年 4 月に「地域中核企業支援貸付」を創設しています。この制度は、地域中核企業が収益力向上のために行う新事業進出や事業再編等を民間金融機関と協調して後押しし、地域の関連企業等への波及により地域経済全体の活性化を目指すものです。

商工中金（山形支店）は、同制度を活用し、株式会社タカハタ電子（本社：山形県米沢市、代表者：安房 毅氏）に対し、地元金融機関と協調して、有機EL照明製品の生産増強に必要な資金 1 億円を融資しました。

株式会社タカハタ電子は、30 年前に液晶テレビの生産をスタートしてから液晶ビューファインダーや物流仕分け装置を量産するなど、先端的な商品を製造する研究開発型の電子機械器具メーカーです。同社は、仕入や外注において地元周辺の協力企業と数多く取り引きし、また、地域雇用を支える地域の中核的な企業です。

有機ELは、同社が本社を構える米沢市の山形大学工学部で生まれた技術ですが、昨今の研究開発によって、従来品に比べ製造コストを大幅に引き下げる技術の確立に成功しています。これを受けて同社は、面全体が柔らかく発光するという有機EL照明の特長を活かして、医療機関向けの「ナースライト」や和風照明器具などを商品化したことに加え、今後も製品開発を急いで市場を開拓していく事業計画を策定しました。

商工中金は、こうした同社の計画を地域経済への波及効果や雇用拡大に貢献するものと高く評価し、地元金融機関と協調して必要資金を融資しました。

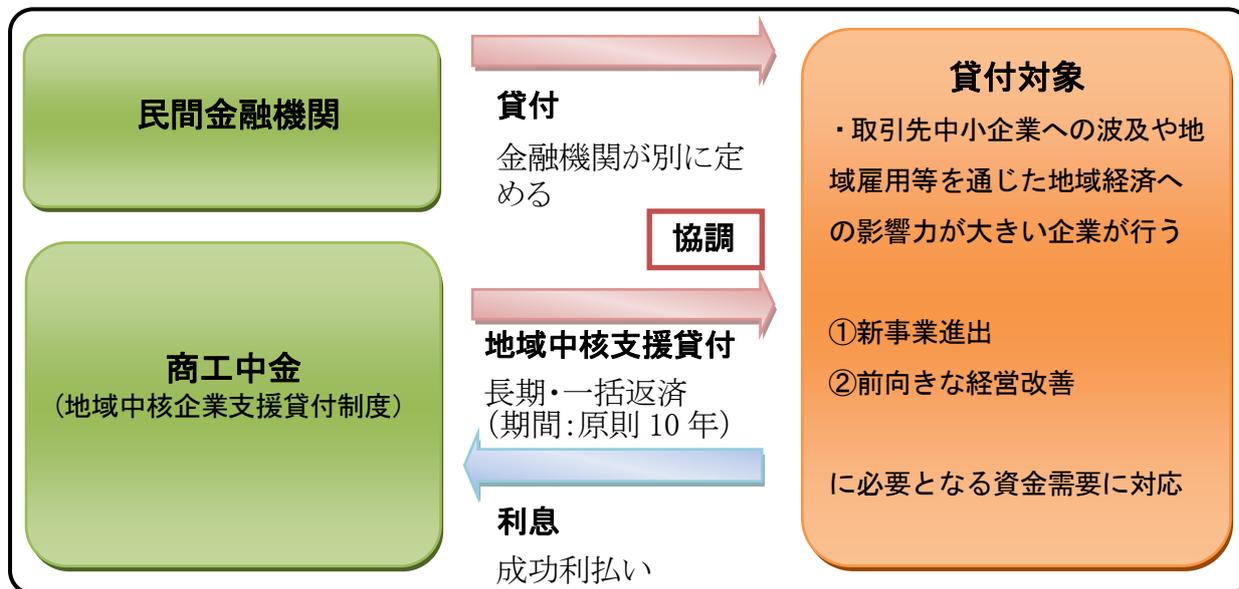
これからも商工中金は、同制度の活用を通じて、直接融資のみならず、経営課題に対するさまざまなソリューションや情報提供を行い、支援対象企業を核とした地域への波及効果の高い取組みを通じて地域経済の活性化へ貢献してまいります。

【株式会社タカハタ電子の概要】

所在地	山形県米沢市窪田町渋谷堰 1188	資本金	1 億円
代表者	安房 毅	従業員数	212 名（平成 27 年 12 月現在）
業種	電子機械器具製造業	設立	昭和 49 年 6 月

【地域中核企業支援貸付制度】

1. スキーム概要



2. 貸付制度の概要

○貸付条件

貸出形式	証書貸付
限度額	5億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合0.6%
貸付期間	原則10年

○利率（成功判定）

- ・利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。
- ・債務者の直近決算の経常損益が赤字の場合は0.6%、黒字の場合は商工中金所定の利率とする。
- ・なお、黒字の場合であっても、新事業計画の場合は、当該計画の売上、経営改善計画の場合は、当該計画の経常損益それぞれに対する達成率が一定未満の場合は0.6%とする。